

平成24年行政事業レビューシート (環境省)

<b>事業名</b>	災害に強い国土・地域の構築のための総合的な水管理推進事業		<b>担当部局庁</b>	水・大気環境局		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成25年度		<b>担当課室</b>	水環境課		水環境課長 北村 匡		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	3-3 水環境の保全 (海洋環境の保全を含む)				
<b>根拠法令</b> (具体的な条項も記載)	環境基本法第16条、第28条、水質汚濁防止法第2条、第3条、第24条の2、湖沼水質保全特別措置法 第37条		<b>関係する計画、通知等</b>	利根川水系における取水障害に関する今後の措置に係る検討会中間取りまとめ(平成24年8月)				
<b>事業の目的</b> (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	東日本大震災の経験を踏まえ、身近な水環境の保全及び水管理の必要性があらためて強く認識されたところ。また、利根川水系浄水場の利水障害事故見ように、ひとたび、水に関連する事故が起きた際には、影響が広範囲に渡る可能性があることから、地域における総合的な水管理体制の強化及び地域における健全な水循環を確保し、災害に強い国土・地域の構築に資することを目的とする。							
<b>事業概要</b> (5行程度以内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> <li>水質事故の再発防止及び原因究明の迅速化等地域における危機管理・リスク管理の推進による水環境の安全・安心の確保</li> <li>流域における資源循環システムの構築による水質の保全と健全な水循環機能の実現</li> <li>地域における健全な水循環確保のための体制構築と人材の育成、専門的知識や経験・技術の継承等による地域間の連携推進と適切な流域管理の推進</li> </ul>							
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額</b> (単位:百万円)	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
		当初予算	-	-	-	-	550	
		補正予算	-	-	-	-		
		繰越し等	-	-	-	-		
	計	-	-	-	-	550		
	執行額	-	-	-	-			
執行率 (%)	-	-	-	-				
<b>成果目標及び成果実績</b> (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)	
	潜在的に環境リスクを抱える物質に関する整理、検討や、流域における資源循環に係る課題の整理等を行う事業であり、定量的な成果目標を設定することがそぐわない事業である。			成果実績	-	-	-	-
達成度		%	-	-	-	-		
<b>活動指標及び活動実績</b> (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	潜在的に環境リスクを抱える物質の洗い出し及びリスク評価や実態調査・危機管理の検討、流域の資源循環構築事業の実施、地域間の連携推進事業の実施、等。			活動実績(当初見込み)	-	-	-	-
			件	-	( - )	( - )	( - )	
<b>単位当たりコスト</b>	- (円/ )		算出根拠	流域における総合的な水管理の推進に向けた調査、検討等を行う事業であり、単位当たりコストを算出することは不可能。				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	環境保全調査費	-	380					
	環境保全調査等委託費	-	3					
	環境保全調査等地歩公共団体委託費	-	168					
	計	-	550					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利根川水系における水質事故では、1都4県の浄水場における取水停止や千葉県における36万戸の断水・減水といった広範囲の影響が見られ、水環境に対する社会不安が広がった。</li> <li>・このため、水環境に関して国民の安全を確保し、水環境保全への信頼を確保するため、早急に、同様事案の発生を防止し、万が一問題が生じた場合に迅速な対応を図る体制を整えることが重要。</li> <li>・本事業は、これまで未規制とされてきた物質を対象としており、今後の水質保全行政に従来のリスク評価ではなく、新たな視点でのリスク評価を取り入れ、工場・事業場における排水管理を進めるものであることから、国において実施すべき事業である。</li> <li>・流域における資源循環システムの構築が、健全な水循環確保のための喫緊の課題にある中で、国が、代表的な湖沼を対象に、健全な水循環のための資源循環技術の実証を先導的に行うことにより、我が国湖沼流域における資源循環、水質保全施策が促進される。</li> <li>・水環境行政においては、流域における総合的な管理が必須であり、流域間の各自治体等の知識や技術の向上と継承が不可欠。</li> <li>・このため、国が地域における流域間の連携を支援することにより、適切な流域管理を実施できる体制を強化し、地域ごとの健全な水循環の確保を推進することが必要。これにより、我が国全体の水環境保全施策が総合的に推進される。</li> </ul>
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	-	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果			
予算監視・効率化チームの所見			
地域における総合的な水管理体制の強化及び地域における健全な水循環の確保に向けて効率的な事業実施に努めること。			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	-	平成23年行政事業レビュー	-